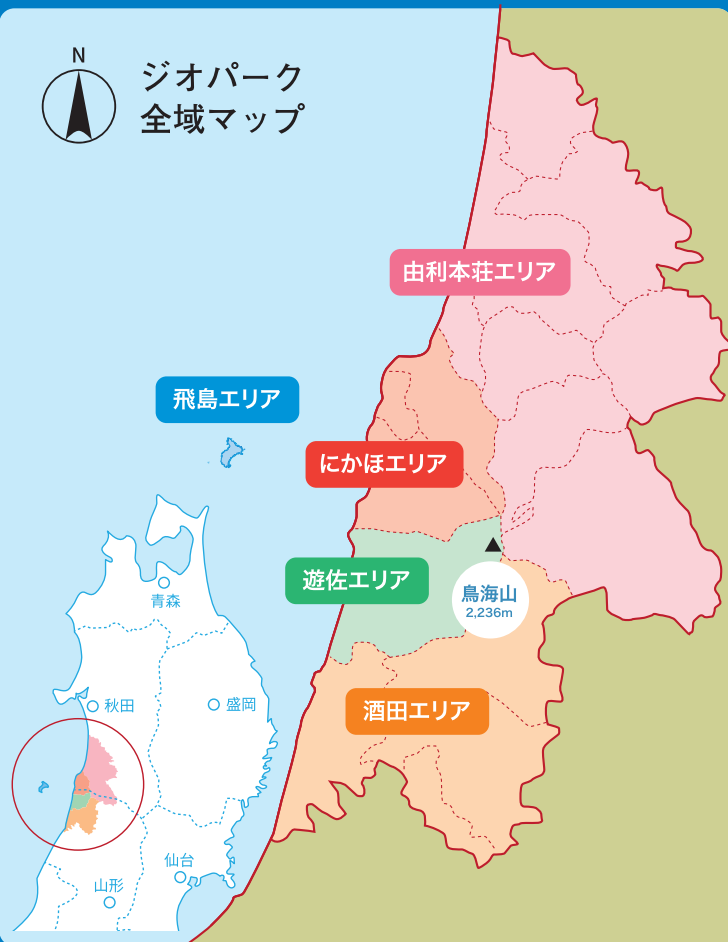


TOBISHIMA

飛島エリア



ジオパーク
全域マップ



日本海と大地がつくる 水と命の循環

鳥海山・飛島ジオパークには

水と命の循環を

身近に感じることができる

貴重な大地と自然、文化が広がっています。

鳥海山・飛島ジオパーク

Mt.Chokai & Tobishima island Geopark

【推進協議会事務局】

〒018-0121 秋田県にかほ市象潟町字大塩越36-1

Tel.0184-62-9777 Fax.0184-62-9788

E-mail.info@chokaitobishima.com



鳥海山・飛島ジオパーク ガイドの会

詳しくはWEBをご覧ください

Tel.080-2189-1081 Fax.0184-62-9788 E-mail.guide@chokaitobishima.com

2019年4月 発行

飛島

飛島エリア

海の中から生まれた島で
1,000万年の時間旅行

酒田港から北西約39kmの日本海沖
にある飛島は、周囲10.2km、標高
68mの小さな島です。

ジオパークの見どころには、科学的価値
が証明された地質・地形遺産である「ジオ
サイト」のほか、「自然サイト」「文化サイト」
があり、ジオサイトを観察するのに最適な
場所を「ビューポイント」としています。



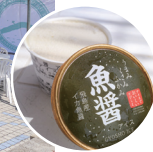
0 0.5 1 km

海底地形は、(一般) 日本水路協会の海底地形デジタルデータを利用した。

check! カフェスペース しまかへ



飛島アイス!!



港近くに新しい憩いの場として2012年にオープン。飛島特産の海産物やごども(男爵いも)を使ったカレーやパスタ、オリジナルアイスなどが人気です。夜はランタンの灯りで雰囲気たっぷりの時間が味わえます。

check! 飛島のおみやげ



トビウオの
焼き干し!!

飛島は漁業の島。ワカメ、アラメ、トビウオの焼き干し、イカの魚醤塩辛をはじめ海産物のおみやげが豊富です。江戸時代の蕎麦を飛島の畑で復活させた『幻の天保そば』も人気です。

check! 島内のラーメン



絶品です!!

庄内・酒田はラーメンどころ。飛島にも2軒のラーメン屋が営業中です。トビウオの出汁がきいた味わい深い醤油ラーメン、トビシマカンゾウがトッピングされた塩ラーメンなどが人気です。

飛島

飛島エリア

大地の多様性を
感じる不思議な島

Touch!

ふれる・楽しむ・好きになる



鳥海山・飛島ジオパーク

Mt.Chokai & Tobishima island Geopark

飛島

エリア

大地と海の営みによってできた風景広がる飛島。
多様な自然と漁村の暮らしにふれる、
不思議と発見の島です。

1

館岩

館岩は、粘り気のある固い流紋岩でできた大岩。操業する船を波風から守る役目をして、飛島に天然の良港をつくりました。館岩の上からは島の東海岸を一望できます。

MAP D-2

Q

マンモス岩は
どうしてできたの？



A

マンモス岩は「流紋岩」という粘り気のある溶岩でできており、それが風化や波の力で形作られました。鼻の部分と前脚の部分の間の穴は「海食洞」といわれるもので、長い年月の間にできあがったものです。



トビシマカンゾウ

トビシマカンゾウは高山植物のニッコウキスゲが海辺の環境に適応したもので、トビシマで発見されたことからこの名称が付けられました。



御積島

(おしゃくじま)

飛島の西方約1kmに位置する流紋岩でできた標高72mの島です。ウミネコをはじめとした海鳥の繁殖地となっています。



▲小松浜(海水浴場)



船のジオツアーも
人気だよ！

2

鳥帽子群島

飛島の西方約1キロにある鳥帽子群島には、溶岩が冷えて固まった時にできる六角形の柱状の岩石(柱状節理)がたくさん見られます。飛島では「材木岩」と呼ばれています。このあたりの海は透明度が高く、スキューバダイビングや磯釣りのポイントとして人気です。



ジオサイト

館岩からの眺望▶



▲北前船の乗組員が奉納した狛犬

3

荒崎海岸

荒崎海岸ではたくさんの海浜植物が見られます。初夏から夏にかけてはスカシユリやトビシマカンゾウなどの植物が次々と花を咲かせます。眼前に広がる海食台や鳥帽子群島の眺望が美しく、「日本の渚100選」にも選ばれています。

MAP C-2



▲貝殻ビーチ



もっとジオトーク！

GEO-TALK

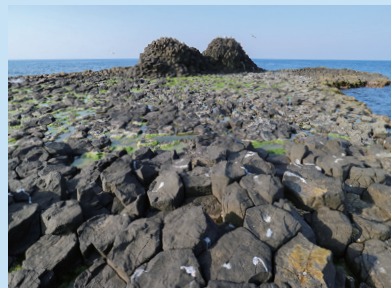
GEO TALK

飛島ができたころ

海の中では海底火山が激しく噴火を繰り返し、火山から噴出した砂や泥が積み、溶岩が冷えて固まって、たくさんの火山岩や火砕岩が積み重なっていきました。その後も大地の活動は続き、およそ300万年前からは地殻変動によって海底が隆起し、海の中にあった山々が海上に顔を出し始めます。飛島もその一つで、海の上に現れた現在の飛島は海底山地の高まりにあたります。こうして陸地となった飛島は大地の隆起と海水による侵食、海面の上昇や下降などによって、階段状の地形(海成段丘)をした現在の形になったのです。



西海岸の[ツブ石]



二俣島



西海岸の[ジジ石]

GEO TALK

飛島と海の民

飛島は海に向き合って暮らす人々の歴史や文化が息づいている島です。周囲10kmほどの小さな島ですが、江戸時代は1000人前後の人々が暮らしていました(現在の人口は約200人)。また、昔から漁業が盛んな島で、イカトビウオ・サザエ・アワビなどの魚介類やアラメ・岩海苔などの海藻類が四季を通じて水揚げされています。

4

ゴト口浜

島の南西部のゴト口浜には波に削られてできた高さ20メートルほどの崖があり、海底火山から噴出した火山弾と火山灰が交互に堆積した地層が見られます。1,000万年以上の大昔、飛島が海の底にあったことがよくわかります。

MAP C-2



▲海底火山の緑の石



GEO TALK

小さな島のジオ多様性

飛島には、島が火山活動によってできたとわかるポイントが多くあります。

- 八幡崎や荒崎では凝灰岩の中に15～20cmほどの角礫が含まれている
- 二俣島は島全体が玄武岩の見事な柱状節理になっている
- ゴト口浜の海食崖がたくさんの層になっているのは、火山灰が積もって固まるのを繰り返したため



トビウオ漁[6-7月]



春祭りの船渡御[4月]



アラメは磯見漁(箱メガネで浅い海中をのぞいて行う漁)で採られる[4-5月]

ア ク セ ス

酒田港から飛島へは定期船「とびしま」で約1時間15分です。
2階の展望デッキでは爽やかな風と鳥海山の絶景が楽しめます。



飛行機利用

AIRPLANE

▶東京(羽田)→ANA-庄内空港[約1時間]

自動車利用

CAR

▶酒田中央ICから酒田港まで約10分

▶仙台-東北自動車道・山形自動車道[約2.5時間]

JR利用

TRAIN

▶東京→上越新幹線・羽越本線[約4時間]

▶東京→山形新幹線・陸羽西線[約4.5時間]

高速バス

EXPRESS BUS

▶山形→酒田[約2.5時間]

▶仙台→酒田[約3時間]

